

## 第3次船橋市総合計画基本構想（素案）に対する意見募集（パブリック・コメント）の結果について

第3次船橋市総合計画基本構想（素案）に対して市民の皆さまからお寄せいただきましたご意見及びそれに対する本市の考え方について、取りまとめましたので公表します。

### 1. 意見募集（パブリック・コメント）の実施概要

#### （1）意見の募集期間

令和3年9月1日（水）～令和3年10月1日（金）

#### （2）意見の募集方法

○広報ふなばし（令和3年9月1日号）及び市ホームページに意見募集（パブリック・コメント）のお知らせ掲載

○政策企画課、行政資料室、船橋駅前総合窓口センター、各出張所・連絡所、各公民館、各図書館及び市ホームページにおいて、基本構想（素案）を公表

#### （3）意見を提出できる方

○市内に住所を有する方

○市内に通勤または通学されている方

○この案に関し利害関係を有する方（市内で事業を営む方など）

#### （4）意見の提出方法

郵送、FAX、電子メール、直接持参のいずれかの方法

#### （5）意見の数

17件（提出者数7名（郵送3名、メール3名、持参1名））

## 2. お寄せいただいたご意見と市の考え方

No.	ご意見	市の考え方
1	<p>基本構想には、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「命と暮らしを守る強靱なまち」（災害や犯罪に強い地域づくりや～）の部分</li> <li>・「持続可能な行財政運営」</li> </ul> <p>の2点が挙げられており、この点自体については賛成するのですが、一方で海老川上流地区の「メディカルタウン構想」の実現についても触れられています。</p> <p>「メディカルタウン構想」の推進は、以下の理由により基本構想内での矛盾を生じるため、整合性のある説明ができないのであれば、基本構想の実現のため「メディカルタウン構想」の中止をするべきかと思えます。</p> <p>理由について説明いたします。</p> <p>まず、市および市長の方針では「メディカルタウン構想」により、市立医療センターの建て替えが計画されていますが、この建て替え予定地は船橋市ハザードマップにて液状化リスクがあり、県の洪水浸水想定区域図にも危険区域として指定されています。</p> <p>災害が発生したときに市民の命綱となるべき市立医療センターを、災害リスクのある箇所に建て替える予定があるというのは、基本構想にある「災害に強い地域づくり」という内容と矛盾しております。この点の整合性をどのように説明されるのでしょうか。</p> <p>また、市の財政状況が悪化をたどる中、「メディカルタウン構想」および付随する請願駅の設置に、多大な財源が投じられる予定となっています。</p>	<p>船橋市立医療センターは、三次救急医療機関として、生命の危険のある重篤な患者の受け入れを行っており、船橋市域のみならず東葛南部保健医療圏において重要な役割を担っています。しかし、開院から35年以上が経過し、設備が老朽化していることや、手術室・ICU（集中治療室）等が狭あいであり、室数も不足していることなどから、早期の建て替えが必要な状況です。</p> <p>そのため、建築の可能性が考えられる市内の複数の土地について検討を行いました。三次救急を担う病院として、まとまった敷地が確保できることや、救急搬送の観点から市の中心部に位置していることといった条件を満たす用地が見つからない状況でした。</p> <p>このような中、海老川上流地区土地区画整理事業区域内であれば、病院を建築するうえで必要な条件を満たす可能性が高いことから、当該区域への移転を決定しました。</p> <p>当該区域内には、浸水想定区域に該当する土地が多くありますが、雨水管や調整池の整備、二級河川飯山満川の改修などにより治水の安全性を高めるほか、宅盤についてはかさ上げを行う計画です。液状化対策については、土地区画整理組合設立準備会において地質調査を行い、必要な箇所に対し地盤改良工事等を実施する計画です。</p> <p>さらに、新たな船橋市立医療センターの敷地につきましては、浸水想定の高さを踏まえた地盤のかさ上げなどの浸水対策を検討するほか、救急車両の動線についても、浸水の可能性が低い高台からのルートを踏まえた計画を検討するなど必要な対策を行い、災害時においても、船橋市立医療センターとしての役割を十分に発揮できる病院とします。</p>

No.	ご意見	市の考え方
	<p>行政改革により資金を捻出すると言えば聞こえは良いですが、すでに行政改革による無駄を見直した後であるため、この先の行革は、船橋市民への行政サービスをカットすることと同義となります。</p> <p>現状、市の将来財政推計が全く予断を許さない中、「メディカルタウン構想」に多大な資金を投入するのは、基本構想にある「持続可能な行財政運営」という内容と矛盾します。</p> <p>行革により財源が捻出できる、というのであれば、それは行政サービスのカットと等しいので、その他の基本構想の各項目の内容が実現から遠のくということで、この点も基本構想と矛盾します。この基本構想内で起こる矛盾について、整合性をどのように説明されるのでしょうか。</p> <p>「メディカルタウン構想」の中止をすることで、この基本構想の内容が整合性が取れる、市民が納得できる内容になるのではないのでしょうか。</p>	<p>また、海老川上流地区に船橋市立医療センターを移転し、医療や健康の中心となる新たなまちづくりを行うふなばしメディカルタウン構想の推進にあたっては、ご指摘のとおり、船橋市土地区画整理事業助成規則に基づく助成金や都市計画道路の整備費の市補助金、新駅設置に伴う飯山満川移設負担金など市が負担する経費が見込まれております。</p> <p>本市では、市民サービスの維持・向上のため、令和元年度、2年度の2か年を行財政改革の集中取組期間として実施し、一定の成果をあげることができましたが、今後も厳しい財政状況が見込まれることから、財源のねん出に継続的に取り組む必要があります。</p> <p>しかしながら、この地区は、近年、休耕地が増えるとともに、宅地や墓地、資材置き場、作業場等が混在した土地利用が進んでいます。海老川上流地区のまちづくりは、この地区が市の中心に位置し、船橋の新たなまちづくりの核として、病院を含む都市拠点や、良好な住環境等を形成するものであり、船橋の将来を支える重要な事業であることから、当該地区の区画整理事業を市としても支援をしていく必要があると考えています。</p>
2	<p>参考資料「第3次船橋市総合計画序論（素案）」において、「本市の施策について、力を入れるべきものは「交通渋滞の緩和や歩行者・自転車利用者の安全に配慮した幹線道路、生活道路の整備」が48.0%と、9年連続で最も多くなっており、特に道路整備については、市民意識調査においても、毎年関心が高い施策分野であり、市として継続的な課題となっていることから、慢性的な渋滞の緩和や歩行者等の安全の確保に向けた道路の環境整備に継続して着実に取り組む必要があります。」とあるのに対して、素案では「良好</p>	<p>基本構想は、本市の強みを伸ばし、課題を克服するためのまちづくりの基本的な方向性までを示すものであるため、今後の道路交通環境の整備に係る具体的な取り組みについては、基本計画において、現状と課題を市民要望も踏まえて分析するとともに、将来に向けて必要な施策の方向を示します。</p> <p>現在本市では、交通渋滞の緩和を図るため、都市計画道路など幹線道路の拡幅整備や右折レーンの設置などの交差点改良整備を進めています。また、身近な生活道路では、歩道の段差解消による歩行</p>

No.	ご意見	市の考え方
	<p>な道路交通環境の整備などに努める」の一言で簡潔にまとめられるのみなので、構想とはいえもう少し市民の希望を反映して、強調した表現にしたほうが良い。</p>	<p>環境の整備や警察と連携した安全対策等を実施しています。このほか、自転車が車道を安心して快適に走行できるよう自転車走行空間整備を実施しています。</p> <p>道路の整備には、用地取得など長い時間を要しますが、今後も本市と周辺都市を広域につなぐ国道や県道の整備促進を国や県に要請するとともに、市民の安全・安心を図るため市道の整備を着実に推進していきます。</p>
3	<p>地場産業活性化のため</p> <p>①個別製品のブランディング</p> <p>②一般への認知を高める</p> <p>船橋駅前の北口ペDESTリアンデッキで即売会、市のイベント活用、東武デパートのイベント、広報ふなばし、市役所のホームページ</p> <p>③選考者は、一般消費者、ユーザー、学識経験者</p> <p>“ふなばしセレクション”のブランド価値をあげてマーケットにアピールを市役所がもっと力を入れる。</p> <p>個別ブランドの評価が高まれば、業績が伸び収入が増え雇用も伸びる。そんな産業経済の発展策は、この時代の施策かと思っています。</p>	<p>「ふなばし産品ブランド協議会」が運営する「ふなばしセレクション」は、市内の優れた商品を掘り起こし、地域経済の活性化や元気で活力あるまちづくりのため、平成24年に事業として立ち上げ、観光業、商業、広告業の専門家と一般の消費者からなる審査委員会により選定が行われました。</p> <p>市民アンケートやイベント時のアンケートによれば、「ふなばしセレクション認証品」の市民認知度は約6割、ふなばしセレクションPRキャラクターである船えもんについては8割以上の方々に認識をいただいているとの結果が得られています。</p> <p>認証品の選定にあたっては、知見者としてブランディングを専門とする大学院客員教授を審査委員会のアドバイザーとして招き、広報ふなばし等で公募した市民100人による試食審査も実施しました。新たな認証品の選定後は東武百貨店船橋店にてお披露目販売会を開催し、市の広報紙「広報ふなばし」においても1月1日号で全認証品を紹介するとともに、以降もひと月に一品ずつ紹介する特集を組むなど、広くPR活動を行っています。</p> <p>また、新聞各紙やテレビ等のマスメディアをはじめ、JR各駅、商工会議所の会報誌、企業等の広報紙などでも度々紹介いただくとともに、ふなばし産品ブランド協議会のホームページや船えもんのSNS</p>

No.	ご意見	市の考え方
		<p>アカウントからの情報発信、さらには動画公開等を通じた PR 活動も行っています。</p> <p>なお、ご指摘にもありましたように、認証品事業者自らが商品を磨き上げていくことを重要視していることから、消費者からの声を直接聞く機会となる催事への出店、また、ブランディングに関するセミナー開催等の支援を行っています。</p> <p>今後もふなばしセレクションや、その他の船橋の地場産品について、効果的な PR に繋がる観光振興をはじめとして、幅広く取り組みを行い、地域経済の活性化を図っていきます。</p>
4-1	<p>子育てに関して</p> <p>私は日本国の少子化に強く憂いを抱いています。どうしたら若い人達の多くが結婚して、妊娠と出産の適齢期に、出産するかをよく考えます。</p> <p>結婚生活や出産や子育てに夢を持てるようにすることが大切です。結婚とは生活を共にする男女2人が、相手の良い所を互いに認め合って、楽しく感じながら譲歩仕合い、協力して家庭を築き、子育てをして子供を一人立ちさせることだと思います。さらに、2人が外部の人とどう関わるかも大切です。</p> <p>大変なのは出産後の乳児の子育てです。</p> <p>地域に住む子育てを終えた 55 歳過ぎの 3 女性がグループを作り、交代で乳児のいる家庭を、週 2 回、1 時間 30 分、家庭訪問をして、ボランティア活動で乳児親子と遊びます。</p> <p>小学生がいる 3 家族が、グループを作って遊びます。</p> <p>家が狭かったり、家族の事情で、グループの 2 家族を家に呼べない家庭の場合は、子が大学を卒業して子育てを終えた地域の 3 家庭がグループを作り、交代で自宅に招いて遊び場所を提供します。</p>	<p>少子化の進行は、社会・経済・地域等あらゆる側面で担い手の減少につながり、将来的に本市のまちづくりにも多大な影響を及ぼします。</p> <p>晩婚化や晩産化、核家族化の進行などにより、家庭を取り巻く環境が多様化していることから、本市では、出産や育児に不安を抱える方が安心して子供を産み育てることができるよう、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない母子保健事業を推進するとともに、親同士の交流の機会を提供しています。</p> <p>また、行政と地域の大人たちが連携を図りながら、子供たちの放課後の居場所づくりや体験活動の機会を提供しています。</p> <p>今後も、次代を担う子供たちが心豊かに育つような環境づくりを推進していきます。</p>

No.	ご意見	市の考え方
	生身の人間が人として成長するには、生身の大人達と触れ合う事が 必要です。	
4-2	<p>私が住む団地は、住み始めてから 50 年以上が経ち、団地建て替え の話が出ています。隣の3街区団地は、私たちのより早く建設され ていて、令和3年の今年度に、建て替えの話が決定しました。出来 上がるのは3年後だそうです。</p> <p>今、地球の温暖化を防ぐために、世界規模で様々な対処法が唱えら れています。太陽光発電の設置もその一つです。家を建てる時は市 役所と繋がりがあるので、市役所から太陽光発電の設置の話を3街 区の管理組合に話をしてもおかしくないと思います。地球の炭素削 減にご助力くださるとありがたいです。</p>	<p>ご指摘のとおり、地球温暖化は世界的な環境問題であり、本市では 令和2年度、環境基本計画、地球温暖化対策実行計画を策定し、意 欲的な長期目標として「2050年ゼロ・カーボン」に挑戦することを 掲げています。</p> <p>引き続き、再生可能エネルギーの導入の促進などにより、温暖化対 策の普及・啓発に取り組んでいきます。</p>
4-3	<p>ボランティア活動の感覚を育てる。</p> <p>私は夫の海外転勤により、ロンドンで4年間、3人の我が子の乳児 と小学生の子育てを経験しました。その時、子が参加したガールス スカウトのリーダー達のボランティア活動の姿勢が、参考になりました。 一つのボランティア活動を長く続けることが大切です。</p> <p>私の日常生活では、「運動をする」、「勉強をする」、「ボランティア 活動をする」の三つを1か月の生活の中に必ず取り入れています。 日本では、ボランティア活動に参加する真剣さが、足りないよう です。</p>	<p>本市のまちづくりは、町会・自治会をはじめ、様々な分野のボラン ティアなど多くの市民に支えられていますが、高齢化や担い手不足 などの課題を抱えている団体等もあります。</p> <p>本市では、中学生以上の学生を対象として、主に夏休み期間を利用 してボランティアを体験する「ふなばし夏のボランティア体験」事 業を実施しております。ボランティア体験先として、市内の市民活 動団体や福祉施設など様々な活動を体験して頂いており、参加した 多くの学生からは、「とても貴重な体験となった」「また来年も参加 したい」といった声をいただいております。</p> <p>今後も、小学生のボランティア受け入れを実施している船橋市社会 福祉協議会のボランティアセンターや市民活動団体などと連携し ながら、子供の頃からボランティアに触れる機会を創出し、ボラン ティア意識の醸成に努めていきます。</p>
4-4	<p>救急車の振動を静めてほしい。</p> <p>私は今迄に、吐いたり、出血したり、目まいがしたり、お腹の痛み</p>	<p>本市救急車には患者の苦痛等を和らげることを目的とした、揺れ を吸収するための防振架台を導入しています。</p>

No.	ご意見	市の考え方
	<p>で、救急に5回乗って病院に行きました。最近では去年の秋でした。毎度困ることは、救急車の振動と揺れが大きいことです。</p> <p>最高に辛い状態で車に乗っているのに、さらに辛さを増す動きを車はしています。救急車の監督をしているのは何処ですか。ご面倒でしょうが私の意見を伝えてほしいと思います。</p>	<p>また、救急隊員は患者を病院へ迅速に搬送するため安全運転を心がけておりますが、道路の起伏や交通状況により、やむを得ず救急車が揺れてしまうこともありますので、不快な思いをしたときは、救急隊員に遠慮なくお申し出ください。</p> <p>今後も、救急隊員に患者の容態等を考えた配慮ある搬送を心がけるよう周知徹底を図ってまいりますので何卒ご理解ください。</p>
4-5	<p>新市立医療センターの北側の奥地に、緑地帯が欲しいです。</p> <p>東葉高速鉄道に新駅を設置して、新市立医療センターを建設することは、大変ありがたいです。でも、その北側の奥地を宅地化して、さらに船橋市の人口を増やすより、今住んでいる人達が気持ちよく過ごせる緑地帯の造成を望みます。</p>	<p>本市の自然的特性を活かし、市民が豊かな緑を感じられるよう、今後も市内に残る貴重な緑地の保全を図るとともに、新たな緑地の創出により、緑豊かなまちづくりを推進していきます。</p>
5-1	<p>私達人間は地球という生命体から生まれ、自然から離れるほどに、不幸になると思います。日本は特に素晴らしい木の文化を持っています。コンクリート・ガラスのような無機質なもから木へ！世界最古の木造建築 法隆寺を手本として、まず、小中学校などの公共施設は木造建築に！</p> <p>これだけで、いじめが減ると思います。子供たちの心が和らぐから。</p>	<p>ご指摘のとおり、日本の伝統的な木の文化を知り、生かすことは、重要であると考えています。</p> <p>小中学校などの公共施設を木造建築にすることは、さまざまな課題がありますが、公共施設などの整備にあたっては、木材を活用した環境の整備について検討していきます。</p>
5-2	<p>小学一年生にパソコンも英語も必要なしと考えます。</p> <p>しっかりと自然に触れさせ、童心を養うことです。</p> <p>田植えや稲刈り、植林、伝統的モノづくりの現場体験が必須です。</p>	<p>本市では、学習指導要領の趣旨を踏まえ「主体的・対話的で深い学び」の視点で授業を工夫・改善し、わかる授業を推進するとともに、個に応じた指導の一層の充実や自主的な学習活動の奨励などにより、子供たちの学力や学習意欲を高めることが必要であると考えています。</p> <p>この学習指導要領では情報活用能力は学習の基盤として位置付けられています。そのため、1人1台の学習用端末を始めとしたICT機器を活用した学習も小学校1年生から段階的に取り入れています。</p>

No.	ご意見	市の考え方
		<p>英語に関しましては、昨年度より実施されている学習指導要領に則り、全国的には小学校3年生より外国語活動の授業を行っています。本市では、小学校低学年の児童は好奇心が旺盛で、人前でも恥ずかしがらずに表現活動ができるという特性があるほか、英語によるコミュニケーション能力育成のために欠かせない積極的な取り組みが期待できるというメリットから、平成18年度、英語教育特区に認定を受け、全小学校54校で1年生から英語の授業を実施しています。平成20年度には教育課程特例校の指定を受け、小学校1、2年生において週1回（20分）の英語の授業を継続しています。</p> <p>また、学習指導要領では、「児童の体験的な学習活動、特にボランティア活動など社会奉仕体験活動、自然体験活動その他の体験活動の充実に努めるものとする」とされており、ご指摘のとおり、自然に触れるなどの体験的な学習は低学年児童にとって非常に大切です。</p> <p>このことから、船橋市においても、児童生徒の豊かな心や健やかな体を育成することができるよう、引き続き多様な体験学習を取り入れ、学習活動を推進していきます。</p>
5-3	<p>私たち大人に古典や名文学が人生の糧となるように、子供たちにも児童文学の古典に触れさせるとよいと考えます。</p>	<p>子供にとって読書は言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできない大切なものです。</p> <p>本市では、「第三次船橋市子供の読書活動推進計画」を策定し、子供が読書の楽しさに気づき、自ら読書を楽しむことができるよう、家庭・地域・学校など社会全体で計画的に環境づくりを推進しています。</p> <p>図書館では児童室を設置し、子供の読書や課題解決の相談に応じた</p>



No.	ご意見	市の考え方
		<p>り、おはなし会等の取り組みを実施することで、発達段階に応じたサービスの提供に努めています。</p> <p>また、子供たちが学校でも多くの図書に触れ、充実した学習活動が図られるよう、平成 27 年度にすべての小中学校へ学校司書の配置を行いました。</p> <p>今後も子供の発達段階に応じて、永く読み継がれてきた絵本やお話を紹介することで、児童文学などさまざまな作品に触れる機会を提供していきます。</p>
5-4	<p>老舗旅館「玉川」が取り壊されたのは、大いなる文化破壊です。船橋大神宮へ向かう道路の両側に建つ「森田呉服店」と「ひろせ直船堂」は是非残してください。</p>	<p>森田呉服店、廣瀬直船堂については、本町通りに遺された数少ない和風の店舗兼住宅の建築であり、明治時代初期の建築と考えられる建造物です。</p> <p>私有財産である建造物は、当該建造物の所有者の同意等を得た上で、「景観重要建造物」や「指定文化財」「登録有形文化財」に指定・登録することが可能です。</p> <p>廣瀬直船堂については、平成 28 年に景観重要建造物に指定されています。</p> <p>このような重要な建造物等について、今後も所有者の方の意向も尊重しながら、維持・保全に努めていきます。</p> <p>なお、令和 2 年 4 月末に創業の歴史に幕を下ろした国の登録有形文化財「玉川旅館」については、建築物をそのまま遺すことはかないませんでした。画像や動画をデジタル保存するとともに、公開を行い、将来へ伝えていく取り組みをしています。</p>
6-1	<p>将来都市像「人もまちも輝く笑顔あふれる船橋」について  将来都市像は、「市民と広く共有できる、将来に向けたまちのイメージとして掲げる」とのことです。しかし、このフレーズではどういった都市を目指しているのか私には全く分かりませんでした。10</p>	<p>「1. 将来都市像」に記載のとおり、将来都市像は、市民と広く共有できる将来に向けたまちのイメージを掲げたものです。</p> <p>そこに込められた意味合いや考え方については、市民を含め、船橋に関わるすべての「人」が自分らしく生き生きと輝くことで、人々</p>

No.	ご意見	市の考え方
	<p>年後、20 年後の船橋がどうなっているか、全くイメージができません。</p> <p>どのような状態が「人が輝く」为什么呢。「まちが輝く」为什么呢。「笑顔あふれる船橋」とはどうなった状態のことでしょうか。現状との違いはどこにあるのでしょうか？</p> <p>こうしたフレーズは、具体化すればするほど反対意見も出てくることと思いますが、船橋市が目指す方向性の見える計画にしてほしいと思います。</p>	<p>から笑顔があふれ、そして、まち中に笑顔の輪が広がり「まち」がさらに活気づくことで、人もまちも輝く笑顔あふれるという都市像をお示ししています。</p>
6-2	<p>めざすまちの姿について</p> <p>五つ挙げられています、現状の何を問題ととらえて、どこを「めざす」のでしょうか？市がかかえる重点課題が反映されていないと感じます。また、市をとりまく社会経済情勢も反映されていないと感じます。「各分野横断的な目標とする」としているのに、具体的な目標が何もないように思われます。</p> <p>本来であれば目標なので、「いつまでに何をやる」という形で提示すべきかと思いますが、時期の明示が難しければ、せめて「何をやる」「どういう状態にする」というやるべきことを明示してください。</p> <p>また、五つ挙げられているものの、方向性がわかりづらく感じられ、他の4つも玉虫色な目標に感じますので、もう少し具体性をもたせてほしいと感じました。</p> <p>重点的に対策が必要な部分に絞った目標の提示などもしてほしいと思います。これらが明らかになれば、船橋市がどういった方向を目指しているのかわかりやすいと思いました。</p>	<p>第3次総合計画は、「基本構想－基本計画－実施計画」の3階層で構成されています。</p> <p>基本構想に掲げる各めざすまちの姿は、ご指摘のような「いつまでに何をやる」というような目標等を明示するのではなく、本市の強みを伸ばし、課題を克服するためのまちづくりの基本的な方向性までを示すものです。</p> <p>このめざすまちの姿を実現するために、基本計画において、基本的な施策を体系的に定め、基本施策ごとに現状と課題を分析し、それを踏まえ将来に向けて必要な施策の方向を目的とともに示します。また、3階層目の実施計画においては、計画期間を3年程度とし、基本計画に示した施策を推進するための具体的な事業とともに、目標等も併せて示す予定です。</p>
6-3	<p>基本姿勢「多様な主体との協働」について</p> <p>「多様な主体との協働」は改めて言わなくても、ごく当たり前に行</p>	<p>まちづくりの推進にあたっては、あらゆる分野において、行政だけでなく、市民・団体・事業者等の多様な主体が連携・協力すること</p>

No.	ご意見	市の考え方
	<p>われているべきものではないでしょうか。それを行うために重要なことは、市の「情報発信と受信、活用能力の向上」と考えます。これが基本姿勢となるべきではないでしょうか。ステークホルダーとの協働のために、積極的なコミュニケーションを行ってほしいと思います。</p>	<p>は大変重要なことと考えています。</p> <p>また、ご指摘のとおり、情報発信や広聴も重要であることから、様々なコミュニケーションの方法を用いて、市内外の多様な方々との協働に努めていきます。</p>
6-4	<p>基本姿勢「持続可能な行財政運営」について</p> <p>「持続可能な行財政運営」は必要なことですが、その中で「選択と集中」（特に切り捨て）を基本姿勢に入れるべきではないと考えます。「市が抱える重点課題」に挙げている内容などから考えると、サービスの取捨選択が前提となっているように思えます。</p> <p>結果としてそうせざるを得ない場合もあるとは思いますが、最初から「選択と集中」ありきではないと考えます。業務の効率化や大型投資の逐次見直し、ICT活用などを通じて「経営資源を最大限に有効活用する」ことをまずは考えてほしいと思います。</p> <p>行政課題が続々と出てくる中、持続可能な行政運営は難しい問題だと思います。限られた資源の中、日々ご苦労されていると思います。それでも、「選択と集中」は、経営資源を有効活用しようとするとき、考える選択肢の一つに過ぎないと考えます。</p> <p>一方、「実効性の確保」については本当に重視してほしいと思います。「基本計画にあるから実施する」「昨年やったから今年も実施する」などではなく、「基本構想と方向性がずれていないか」「目標に対して実績はどうだったか」などを常にチェックし、改善しながら、実効性のある施策を常に推進していただくと嬉しいです。</p>	<p>本市を取り巻く社会経済情勢が目まぐるしく変化するほか、少子高齢化が今後さらに進行し本市の人口構成も大きく変化することが見込まれています。また、本市の将来財政推計では、今後も厳しい財政状況が続くものと見込んでいます。</p> <p>このような状況下においても、市民の生活を支えるとともに、市の将来の発展のために必要な施策・事業を推進していかねばならないと考えています。一方で、社会の潮流や市の現状・課題を的確に捉え、施策・事業を常に見直すことも必要となります。</p> <p>「選択と集中」は、経営資源を有効活用するための選択肢の一つであるということは、ご指摘のとおりであると考えています。</p> <p>基本姿勢でいう「選択と集中」は、施策・事業について、時代背景や市民ニーズに合致したものとなるように、常に見直しを図りながら、限られた経営資源を真に必要な施策・事業に効果的・効率的に投入することであると考えています。</p> <p>また、施策・事業の推進にあたっては、予定通り実施できること（実行性）よりも、当初設定した目標が達成できること・効果を挙げていること（実効性）がより重要であると考えています。適切な指標の設定・測定を行うとともに、施策・事業の進捗状況の点検・分析、それによる見直し等が着実に実施できる PDCA の仕組みの構築により実効性の確保に努めていきます。</p>

No.	ご意見	市の考え方
7	<p>現在、街の防犯灯がLEDに切り替わり、これまで病気になることのなかった庭の植物が、カビ性の病気にかかるようになりました。周囲を見ていると、やはり、防犯灯がLEDに変わってから、うどんこ病、黒点病、べと病といった病気の症状が出ている庭の家が多いように感じています。</p> <p>海老川沿いの桜並木も、最近、とくに桜が大きく弱ってきているように見えます。</p> <p>観察していると、夜、LED防犯灯の近くに降った雨は、べとっとして、乾きにくく、腐りやすくなっているようです。コンクリートやブロック塀なども、黒ずんだり、緑のコケ等が発生しているのが目に付くようになりました。これまで水の溜まることのなかった敷地内のコンクリート部分で、雨が降ると水が溜まるようになった場所もあります。</p> <p>築年数の比較的、浅い家でも、LED防犯灯に変わった後、外壁が黒ずんだり、緑のコケが発生している様子が見られるようになりました。</p> <p>また、自宅のLED防犯灯近くのフェンスはぐらぐらとしており、LED防犯灯から離れた場所のフェンスは、しっかりとしています。これは、LED防犯灯近くの地盤が、弱まってきているということではないでしょうか。</p> <p>最近、市内の電柱や、道路標識なども、傾いているものを見かけることが増えてきました。</p> <p>このような状態では、大きな災害が起きた際、危ないのではないかと感じています。</p> <p>今、コロナ禍において、環境や生活面でさまざまな変化を体験するようになりました。</p>	<p>本市では、環境の保全に関する目標及び施策の基本的な方向性を示すため、「第3次船橋市環境基本計画」を策定しています。</p> <p>この計画の中で、公共施設などにおける、施設の長寿命化を踏まえた光熱費等を考慮した、省エネルギー化に向けた取り組みの促進を課題として掲げています。</p> <p>この課題に対応するための一つの取り組みとして、本市では、公共施設などにおいて消費電力の低いLED灯の導入を推進しています。今後もさまざまな取り組みを通じて、多様な環境問題の解決に向けて取り組んでいきます。</p> <p>なお、ご意見のような事象や影響について、本市においては把握しておりません。</p>

No.	ご意見	市の考え方
	<p>その中で、依然として変わらず、推進されている施策が、LED化であると思います。</p> <p>街中の店舗のみならず、図書館、公民館などの公共施設でも、さらなるLED化が進められています。</p> <p>LEDは、省エネにつながるということから、大きく展開されているのだと思います。</p> <p>ですが、今は、LED同様の省エネの照明も出ているようです。</p> <p>そして、LEDが省エネにつながるといっても、LEDの影響とみられる個々の家の庭や建物等への対応は、個人の負担です。市内の住宅密集地において、LED化による影響は、特に大きいと感じています。</p> <p>今後は、船橋市のLED重視の政策方針の見直しを、お願いしたいです。</p> <p>市民生活への配慮もしていただける、柔軟性のある施策を、どうぞお願い致します。</p>	